

平成29年度 社会福祉法人さつき会サービス向上発表会

発表申込書

【発表テーマ】

在宅での自立支援のあり方。

【発表者】

- ・事業所名：ヘルパーステーション 巧王苑
- ・職名又は職種：ヘルパー
- ・氏名：伊藤 上野

【発表の概要】

1. 取り組んだ課題（理由）又は取り組んだきっかけ

在宅での認知症の方への自立支援が「まず、ヘルパーの全てを行う」
という方針だったので、認知症に対しても支援を受けることで在宅生活の
継続ができることを目標に取り組んだ。

2. 具体的な取り組み内容

家事（調理、掃除、洗濯等）を一緒に行う。まずは、「正しい部分や
おもしろいところ」を声かけ、お手本を行う。支援方法を学ぶ。
調理では、材料を準備する。切り方、下ごしらえ等を声かけしながら行う。
切り方は説明し見守りを行う。味付けも「自分でやらせる声かけ」を
行っている。

3. 取り組みの結果と評価

利用開始当初頃は「顔なじみの関係も出来ておらず」K様も緊張しており
切り方も徐々に細かくなっていく。都度一つ一つ声をかけながら、出来たこと
が分かる。次第にヘルパーが行くことで慣れ、余裕を持って家事を行えるように
なってきている。ヘルパーが入っていない時には鍋をこぼしたり、物を移動させ
どに置いておくと分かるなどもあるため、はまりと出来たことが出来るようになった
訳ではないが、「自身の持っている能力を活かす関わりは行っている。

4. 今後の課題又は展望

K様だけでなく、ヘルパーの支援の入り方として、自立支援を行っている
姿勢改善が必要。
「利用者」に「～してくる人」と思われているが、「共に行ってく人」と
思ってもらえる関わりをしていきたい。